

			15	11	27
1127004	1127001				
0602012	0602007	16	6	2	

1 5

15 11 27

1127004

1127001

(JAPIC)

(URL <http://www.ruijisho.jp/>)

20 3 25

()

<http://www.info.pmda.go.jp/iryujiko/file/20080325-1.pdf>

19 3 30

0330001

0330001

)

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/070330-8.pdf>

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/070330-1a.pdf>

<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/070330-1b.pdf>

<http://ned2.astellas.jp/ned/jp/message/20081121SC.pdf>


http://www.kowa-souyaku.co.jp/medical/product/inform/market/szv_0807.pdf

<http://www.info.pmda.go.jp/info/idx-push.html>

20 11 21

<http://www.jshp.or.jp/cont/081121-2.pdf>





薬剤の名称の類似性等に注意を要する医薬品について

「医療機関における医療事故防止対策の強化について」（平成 15 年 11 月 27 日付け医政発第 1127004 号・薬食発第 1127001 号厚生労働省医政局長・医薬食品局長通知）の別添及び医療事故情報収集等事業において、薬剤の名称の類似性等が指摘されている取り違い等の報告があった医薬品は以下のとおり。

- (1) 平成 15 年 11 月 27 日付け医政発第 1127004 号・薬食発第 1127001 号厚生労働省医政局長・医薬食品局長通知「医療機関における医療事故防止対策の強化について」の別添

URL:<http://www.mhlw.go.jp/topics/bukyoku/isei/i-anzen/hourei/dl/031127-1.pdf>

- 1 誤処方による事故、ヒヤリハット報告があった医薬品名の組み合わせ
アマリール、アルマール
サクシン、サクシゾン
タキソール、タキソテール
ノルバスク、ノルバデックス
オーダーリングシステム等を採用している医療機関において先頭 3 文字が同一の医薬品
- 2 名称類似によると思われる調剤エラーや誤投与のヒヤリハット報告が複数あったもの
アロテック、アレロック
ウテメリン、メテナリン
テオドール、テグレトール
プレドニン、プルゼニド

- (2) 医療事故情報収集等事業

URL: <http://jcqhc.or.jp/html/accident.htm#med-safe>

- 1 平成 16 年 10 月～平成 18 年 12 月までに、医療事故情報等事業に報告された薬剤の名称が類似していることに関連した事例
(医療安全情報 NO. 4 「薬剤の取り違い」(2007 年 3 月)
URL:http://www2.jcqhc.or.jp/html/documents/pdf/med-safe/med-safe_4.)
タキソール注射液、タキソテール注(再掲)
セフメタゾン静注用、注用セフマゾン
ファンガード点滴用、ファンギゾン
アレロック錠、アレリックス錠
アルマール錠、アマリール錠(再掲)

ラクテックD注、ラクテック注

2 平成19年1月～平成19年12月までに、医療事故情報等事業に報告された薬剤の名称が類似していることに関連した事例

（平成19年年報「IV 医療安全情報の提供 1 医療安全情報の提供事業の概要」（216頁））

ニューロタン錠、ニューレプチル（内服）

スロービット（内服）、スローケー錠

ヒルトニン（注）、ヒルナミン（注）

フェノバル散、フェニトイン散



特に安全管理が必要な医薬品（要注意薬）例

1. 投与量等に注意が必要な医薬品

○ 抗てんかん薬

○ 向精神薬

○ ジギタリス製剤

○ 糖尿病治療薬

○ テオフィリン製剤

○ 抗がん剤

○ 免疫抑制剤

2. 休薬期間の設けられている医薬品や服薬期間の管理が必要な医薬品

()

3. 併用禁忌や多くの薬剤との相互作用に注意を要する医薬品

4. 特定の疾病や妊婦等に禁忌である医薬品

5. 重篤な副作用回避のために、定期的な検査が必要な医薬品

< 注射薬に関する特記事項 >

1. 心停止等に注意が必要な医薬品

カリウム製剤

抗不整脈薬

2. 呼吸抑制に注意が必要な注射薬

筋弛緩薬

麻酔導入・鎮静薬、麻薬（モルヒネ製剤）、非麻薬性鎮痛薬、抗てんかん薬 等

3. 投与量が単位（Unit）で設定されている注射薬

インスリン（100 単位/mL）

ヘパリン（1000 単位/mL）

4. 漏出により皮膚障害を起こす注射薬

抗悪性腫瘍薬（特に壊死性抗悪性腫瘍薬）

強アルカリ性製剤

輸液補正用製剤

その他



疑義照会の徹底及び医薬品安全管理手順書等の緊急点検について

- 1 筋弛緩薬に関する疑義照会を徹底して下さい
- 2 オーダリング等における薬剤名称表示を工夫して下さい
- 3 名称類似医薬品の取扱等について

JAHIS

4 医薬品安全管理手順書等の緊急点検をして下さい

<http://www.jshp.or.jp/cont/031027.pdf>

<http://www.jshp.or.jp/cont//031112.pdf>

<http://www.jshp.or.jp/cont/040511.pdf>

